記　者　発　表　資　料

平成２９年４月５日
横浜都市発展記念館
（公財）横浜市ふるさと歴史財団

平成 29 年度 横浜都市発展記念館 企画展

# ようこそ！横浜地図ワールドへ

## ―まちの移りかわりが見えてくる―

「最新実測番地入・新大横浜市全図」（部分） 1938(昭和 13)年 当館所蔵

「地図」とは何でしょうか。

近年は電子画面に表示されるデジタル地図が身近になりつつありますが、厳密に定義すると、「地表の一部を測量し、一定の縮尺と方位のもとで記号によって表現した、印刷された平面図」となります。もちろん単に、「ある地域の地理情報を表現した図版」と広くとらえることもできます。

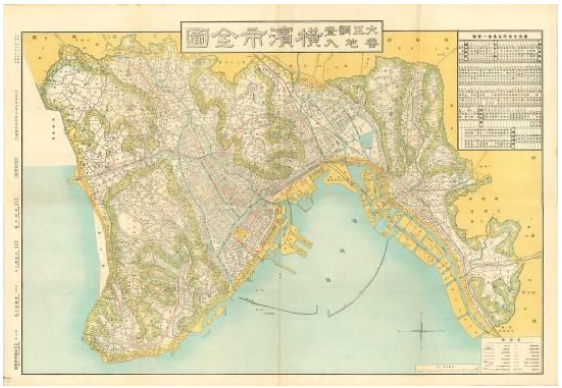
この企画展では、まずさまざまな地図を紹介します。次に「横浜」の名を付した地図を時代の順に集成し、そこから都市横浜の発展のあゆみをたどります。そして、広い市域を区分する全 18 区について、各区のすがたを地図でとらえながら、横浜の詳細な地理を探ります。

定義や種類はともあれ、一枚の地図にはその地域が持つ個性や魅力があふれています。さまざまな地図を通して、横浜の歴史を見つめ直すことはもちろん、その地理への理解を深めていただけると幸いです。

## １．展示の見どころ！

**【大正時代に民間で出版された都市地図】**

有隣堂出版部発行。縮尺：1/15,000。横浜市域は大正時代を通じて変わらず、その間、有隣堂発行の「横浜市全図」が定番の都市地図として改版を重ねた。



「大正調査番地入・横浜市全図」 1920(大正 9)年 当館所蔵

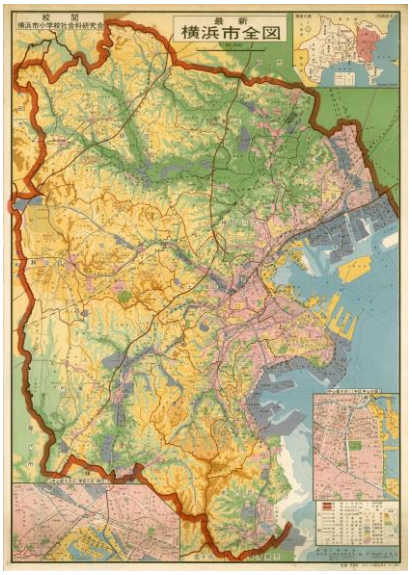
**【戦災復興期に描かれた横浜中心部の鳥瞰図】**

日本旅行社発行。1949（昭和 24）年、野毛山と神奈川（反町）を会場に日本貿易博覧会が開催された。本図はその会場案内の裏面に掲載された鳥瞰図である。

「横浜市街鳥瞰図」1949(昭和 24)年 横浜市史資料室所蔵

**【高度成長期の宅地開発が進む横浜市の全体図】**

横浜市小学校社会科研究会校閲。縮尺：１/30,000。経済成長下の横浜市域の景観がよくわかる学習教材用の地図。当時、市内の内陸部では住宅団地・ニュータウンの造成が相次いだ。




「最新・横浜市全図」 1969(昭和 44)年 横浜開港資料館所蔵

**【昭和はじめの保土ヶ谷の鳥瞰図】**

保土ヶ谷自治懇話会編集・発行。保土ヶ谷は東海道の宿場として発達した。この時期には、帷子川に沿った低地に工場が集まり、高台に住宅地が形成された。

「横浜市保土ヶ谷区鳥瞰図」 1931(昭和 6)年頃 横浜開港資料館所蔵

## ２．開催期間等

【開催期間】　平成 29 年 4 月 22 日（土）～平成 29 年 7 月 2 日（日）
【主　　催】　横浜都市発展記念館
【共　　催】　横浜市教育委員会／横浜開港資料館
【協　　力】　横浜市史資料室／横浜セントラルタウンフェスティバル実行委員会
【後　　援】　朝日新聞横浜総局／神奈川新聞社／日本経済新聞社横浜支局／毎日新聞横浜支局
読売新聞横浜支局／NHK 横浜放送局／TVK
【会　　場】　横浜都市発展記念館　3 階企画展示室
【開館時間】　午前 9 時 30 分～午後 5 時（券売は閉館の 30 分前まで）
5 月 5 日（金・祝）、5 月 27 日（土）、6 月 2 日（金）は午後 7 時まで開館します。
【休 館 日】　毎週月曜日
【観 覧 料】　一般 300 円、小・中学生 150 円

## ３．展示構成

**第 1 章 さまざまな地図とその系譜**
(1)地形図／(2)地籍図類／(3)都市地図・府県地図（民間地図）／(4)商工・住宅地図／(5)鳥瞰図（パノラマ地図）／各種のテーマ地図

**第 2 章 「横浜地図」と都市横浜**
(1)開港・文明開化期（明治時代前半）／(2)近代都市化期（明治時代後半から大正時代）／(3)震災復興期（大正末期から昭和初期）／(4)戦中・戦後期（昭和時代前半）／(5)高度成長期（昭和時代後半）

**第 3 章 地図で探る横浜全 18 区**
横浜市域の拡張と区の分立／(1)鶴見区／(2)神奈川区／(3)西区／(4)中区／(5)南区／(6)港南区／(7)保土ケ谷区／(8)旭区／(9)磯子区／(10)金沢区／(11)港北区／(12)緑区／(13)都筑区／(14)青葉区／(15)戸塚区／(16)栄区／(17)泉区／(18)瀬谷区

## ４．関連イベント

**・展示解説**
展示担当者が見どころを解説します。参加費無料（観覧券が必要です）。いずれも約 45 分間。
【日時】(1) 4 月 29 日（土・祝） 午後 2 時～　(2) 5 月 5 日（金・祝） 午後 5 時～
(3) 5 月 27 日（土） 午後 5 時～　(4) 7 月 1 日（土） 午後 2 時～

**・ワークショップ「地図で遊ぼう」**
毎週末および祝日に当館 1 階にて開催（午後 4 時まで）。申し込みは不要、参加費は無料です。

**・連続講座「横浜・地図三昧」～地図で見る横浜の歩み**（横浜開港資料館・横浜市史資料室と連携）
【日程】　6 月 3 日（土）第 1 回「横浜のさまざまな地図とその系譜」岡田直（横浜都市発展記念館）
6 月 10 日（土）第 2 回「横浜・地図にない場所」伊藤泉美（横浜開港資料館）
6 月 17 日（土）第 3 回「旧公図と火災保険図」百瀬敏夫（横浜市史資料室）
【時間】　各回 14:00～16:00
【会場】　横浜開港資料館　講堂
【受講料】1,500 円（一括）
【定員〕　80 名（応募者多数の場合は抽選）
【申込方法】　往復はがきに、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入の上、下記住所にお送り下さい。はがきは 1 枚につき 1 名様のみの申込みです。
〒231-0021　横浜市中区日本大通 3　横浜開港資料館　地図講座係
お問い合わせ：045-201-2100
【締 切】5 月 19 日（金）必着

・関連展示

**横浜開港資料館 企画展**「横浜・地図にない場所　～消えたものから見えてくる、ハマの近代」
4 月 26 日（水）～7 月 17 日（月・祝）　入館料：一般 200 円、小･中学生 100 円
横浜市中区日本大通 3　TEL：045-201-2100

**横浜市史資料室 展示会**「昭和横浜の構想図・完成予想図－過去に描いたヨコハマの未来－」
7 月 15 日（土）～9 月 10 日（日）　入場無料
横浜市西区老松町 1（横浜市中央図書館地下 1 階）　TEL：045-251-3260

＊横浜セントラルタウンフェスティバル Y158 参加プログラム

開催日の 5 月 27 日（土）、28 日（日）および開港記念日の 6 月 2 日（金）は全館無料でご覧いただけます。


| お問い合わせ先 | | |
|---|---|---|
| 横浜都市発展記念館 | 岡田 直（展示）、神谷 量子（広報） | Tel 045-663-2424 |